

ソフトバレーボール競技規則

〈(財)日本バレーボール協会制定・2007年度版より〉

I 施設と用具

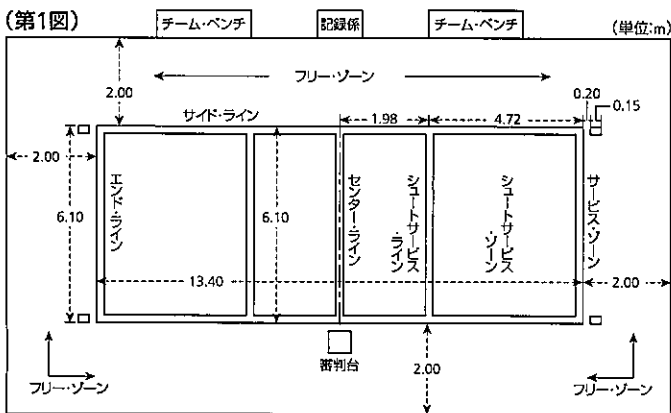
1. 競技場(第1図)

競技場には、コートおよびフリー・ゾーンが含まれる。競技場の表面から最低7mの高さと、フリー・ゾーンの中にはネット、支柱、審判台を除き、一切の障害物があるてはならない。

また、競技場は、凹凸がなく水平であり、荒れていたり、滑りやすい表面であってはならない。

(1) コート

- コートは、13.40m×6.10mの広さをもつ長方形であって、最低2mの幅の長方形のフリー・ゾーンによって囲まれている。
- コートは、2本のサイド・ラインと2本のエンド・ラインによって区画される。また、ネットの真下に、両サイド・ラインを結ぶセンター・ラインを引き、コートを2等分する。
- コートは、第1図のような大きさや名称をもつ各ゾーンに区画される。
- サービス・ゾーンは、エンド・ラインの20cm後方の、両サイド・ラインの延長線上に引かれた長さ15cmの2本のラインによって区画される。シュートサービス・ゾーンはセンター・ラインの1.98m後方に引かれたシュートサービス・ラインと、2本のサイド・ラインに囲まれた位置に設けられる。
- すべてのラインの幅は4cmで、サービス・ゾーンを区画するライン以外はコート内に含まれる。それらのラインは明るい色で、床や他のラインとも異なる色でなければならない。



(2) ネットおよび支柱

- ネットの高さは、2m (小学生の部で5、6年生は2m、4年生以下は1.80m) とし、幅80cmのソフトバレーボール用ネットを用いる。
- 支柱は、ソフトバレーボール用支柱を用い、両サイド・ライン上に、その長さを2等分する位置に立てる。
- アンテナは、ネット上端から1m上方に出るように、1個ずつ両支柱の外側の線に接するように取り付ける。

(注 解)

- コートは、バドミントンのダブルス用コートの外側ラインを利用してもよい。
- 支柱やネットは、バドミントン用の物を利用してもよいが、支柱には補助器具を継ぎ足して規定の高さにする必要がある。(小学生の部におけるネットの高さは、児童の体力や運動技能等に応じ、規定の高さにこだわることなく設定してもよい。)
- 審判台は、0.70~1m(小学生の部は0.5~0.8m)の高さのものが適当で、一方の支柱から50cm程度離して置く方が判定しやすい。
- ベンチは、審判台と反対側のフリー・ゾーン外側に、両コートそれぞれ5人が座れるように設置する。
- 記録席は、公式記録のほか卓上点示板を置ける広さのものを、支柱外方で両コートのベンチの間に設置する。

2. ボール

(1) トリム・ファミリーの部

ボールは、ゴム製で、重さ210±10g、円周78±1cmの(財)日本バレーボール協会制定のソフトバレーボールを使用する。なお、色については規定しない。

(2) 小学生の部

ボールは、ビニール製で、第1表のような規格を持つ(財)日本バレーボール協会制定のソフトバレーボールを使用する。

(第1表)

	色	円周	重さ
小学校4年生以下用	規定しない	78±1cm	50g
小学校5~6年生用	規定しない	78±1cm	100g

(注 解)

小学校における体育科教材用ボールとして、児童の体力や運動技能等に応じ、第1表のほか20g・30gが使用されている。

II チーム

1. チームの構成

チームは、監督1人、キャプテンを含む競技者4人と、4人以内の交代競技者で構成される。

監督は競技者を兼ねることができるが、その結果、競技者、交代競技者の数が規定を超える事はできない。

競技はすべて4人で行われるが、その4人の年代、性別の組合せは自由である。ただし、ファミリーの部やトリムの部でチームを構成する場合は、競技中、コート内には、常に、次の規定の競技者が存在しなければならない。

- ファミリーの部：一家族の老夫婦・夫婦・小学生以下の子ども、または二家族の夫婦・小学生以下の子どもで、コート内の競技者は大人2人(男女)、子ども2人とする。

(注 解) ファミリーの部

①競技中、コートでは、常に子ども2人、大人2人(男女各1人)でプレーしなければならないが、子どもの性別は問わない。

チームの構成は、同一家族か二家族の範囲であれば自由であるが、コート内の規定の競技者との交代が可能ないように用意する必要がある。

②ファミリーフェスティバルでは、30歳以上の男女各2人、子ども4人、監督1人の計9人でチームを構成し、マネージャーは、競技者が兼務することになっている。なお、2年連続しての参加はできない。

(2) トリムの部

コート内の競技者を年齢によって次のように分類する。

- ブロンズ・クラス……30歳代の男女と40歳以上の男女それぞれ1人
- シルバー・クラス……50歳代の男女と60歳以上の男女それぞれ1人
- ゴールド・クラス……60歳以上の男女各2人

(注 解) トリムの部

スポーツレクリエーション祭(スポレク祭)では、

- ①チームは、40歳代と50歳代以上それぞれの男女各2人で構成する。
- ②6、9人制バレーボールの全国大会出場経験者は、50歳以上でなければ参加できない。
- ③原則として、過去の全国スポレク祭に参加したことのないものが優先して参加できるものとする。
- ④シルバーフェスティバルでは、チームは、50歳代と60歳代以上それぞれの男女各2人で構成し、全国大会出場経験者への制限などはない。
- ⑤全国レディース交流大会、全国メンズ交流大会では、チームは39歳以下の2人と40歳以上の6人で構成し、全国大会出場経験者への制限などはない。

(3) 小学生の部

チームは監督1人、キャプテンを含む競技者4人と、4人以内の交代競技者で構成される。監督は競技者を兼ねることができるが、その結果競技者、交代競技者の数が規定を超えることはできない。競技はすべて4人で行われるが、競技者、交代競技者とも、小学校4年生以下を原則とし、男女混合でも差し支えない。

2. 競技参加者の権利と義務

(1) 基本的な権利と義務

- ①競技参加者は、競技規則を遵守し、試合中、常にフェア・プレーの精神と原則に基づいた行動をとらなければならない。
- ②監督およびキャプテンは、チームの規律について責任を負わなければならない。なお、コート内の競技者の1人は、ゲーム・キャプテンでなければならない。
- ③試合中、監督、交代競技者は、フリー・ゾーン外の定められたベンチにいないといけない。